

がまごおり 議 会 だ よ り

●5月市議会臨時会・6月市議会定例会●

- 5月臨時会／議決された主な議案……… 2～3
- 6月定例会／一般質問…ここが論点…… 4～7
- 6月定例会／議決された主な議案……… 8～10
- 委員会通信…………… 11
- 議会日誌、9月定例会予定…………… 12

NO.
2010.8 65



夜空を彩るスターマイン（蒲郡まつり納涼花火大会）

正副議長の選挙・各委員会の構成などを決定

5月市議会臨時会は、5月12日、13日の2日間の会期で開きました。今議会では、鈴木八重久議長、喚田孝博副議長を選出し、各委員会の構成を決めました。また、議案3件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

その主な内容をお知らせします。

5月臨時会
議案

■5月臨時会の日程

- 12日 本会議〔会期の決定、議案説明等〕
総務委員会
- 13日 本会議〔委員長報告、質疑、討論、採決、正副議長の選挙、監査委員の選任、委員会委員の選任等〕
総務委員会
経渉委員会
文教委員会
議会運営委員会
国道23号蒲郡バイパス
建設特別委員会

地方税法等の改正に伴い、年少者（16歳未満）の扶養控除廃止後も扶養親族の情報報を市が把握できるよう、給与所得者及び公的年金等受給者に対する扶養親族申告書の提出制度が23年1月に創設されます。また、65歳未満の公的年金等での所得がある給与所得者について、公的年金等所得に係る所得割額を給与から特別徴収できるようになりました。

市たばこ税の税率が10月1日から、通常の製造たばこ千本につき3298円が4618円に、旧3級品の

蒲郡市議会議場国旗及び市旗掲揚条例を制定しました。6月定例会より、国旗及び市旗が議長席横に掲揚されます。

●監査委員の選任
(第45号議案)

議会選出の波多野努委員の辞任に伴い、後任委員として伊藤勝美議員を選任することに同意しました。

●他の議案
(第44号議案)

区分	氏名 (◎委員長 ○副委員長)				
議長	鈴木八重久				
副議長	喚田孝博				
監査委員	伊藤勝美				
常任委員会	総務委員会	◎大竹利信 小林康宏	○大場康議 小林優一	竹内政住 来本健作	柴田安彦 伴 捷文
	経渉委員会	◎土屋善旦 野崎正美	○新実祥悟 松本昌成	鎌田篤司 喚田孝博	莊田博己
	文教委員会	◎大向正義 波多野努	○飛田常年 伊藤勝美	鈴木八重久 藤田勝司	日恵野佳代
議会運営委員会		◎伴 捷文 来本健作	○野崎正美 伊藤勝美	大場康議 柴田安彦	波多野努
国道23号 蒲郡バイパス 建設特別委員会		◎藤田勝司 土屋善旦	○大場康議 飛田常年	竹内政住 来本健作	大竹利信 柴田安彦

条例の改正

紙巻きたばこ千本につき1564円が2190円に引き上げられます。

●市税条例の一部改正
(第44号議案)

副議長に鈴木八重久議員

副議長に喚田孝博議員を選任

各委員会の内容は

●常任委員会

市の事務の部門ごとに置かれ、それぞれの部門に属する事務の調査を行うとともに、議案、請願などの審査をします。

○総務委員会

各委員会の主な担当事項は次のとおりです。

○文教委員会

○議会運営委員会

●国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会

員会に属さないことは総務委員会で担当します。

○経済委員会

観光、産業振興、道路、河川、公園、都市開発、上下水道、区画整理、競艇事業など。

他の委員会が所管の議案等を審査するのに対し、議会運営全般にわたる事項を審査するのが特徴です。

●国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会

市街地の交通緩和と観光及び産業経済活動の活性化に期待される国道23号蒲郡

5月13日の議案審議の終了後、鎌田篤司議長の辞職に伴い、議長の選挙が行われました。投票の結果、鈴木八重久議員が第57代議長に当選しました。投票の結果、鈴木八重久議員が第55代議長に当選しました。

続いて、伴捷文副議長の辞職に伴い、副議長の選挙も行われ、投票の結果、喚田孝博議員が第59代の副議長に当選しました。

その他に、蒲郡市幸田町衛生組合議会議員の補欠選挙が行われ、7名の議員が当選しました。

行政の総合的な企画・調整、予算、財産、消防など。監査委員、選挙管理委員会に關することなど。他の委員会運営を行ったために置かれ、会派間の意見調整と会議を能率的に進行

バイパスの諸問題の調査研究と早期建設を図るために設置されています。



副議長 嘴田孝博



議長 鈴木八重久

就任 あいさつ

日ごろから市政全般にわたり、市民の皆さんには温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、私どもは、5月市議会臨時会におきまして、議長・副議長に就任いたしました。その重責を担うとともに、職務の遂行に全力を傾ける所存でございます。

最近では、アジア向けを中心とする輸出の増加やエコポイントなどの政策効果で企業業績も回復してはいるようですが、雇用の改善にはつながっていないようで、完全失業率は平成21年4月以降ほぼ毎月5%台で推移しています。

また、個人消費の水準についても低い状態にあり、景気の見通しは不透明な状況にあります。

このような時こそ、限られた財源をよりいつそう重点的かつ効率的に運用し、市民の皆さまの要求・要望を市政に反映させることができます。

そのため市議会の果たす役割は非常に重要です。議決機関として皆さまの意思を迅速に察知し、市政に反映させていくこと、また、皆さまの代表として市政運営の監視機関であることも十分認識しなければならないと考えています。

私たちの蒲郡をいつそう住みよいまちにするために頑張ります。

皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

■5月臨時会で審議された議案の一覧

○条例の一部改正

④市税条例の一部改正

○同意

⑤監査委員の選任

○条例の制定

⑪市議会議場国旗及び市旗掲揚条例の制定

(○内の数字は議案番号。ただしローマ数字は議員提出議案。⑪は賛成多数で、それ以外は全会一致で可決されました。)



6月定例会

一般質問…ここが論点

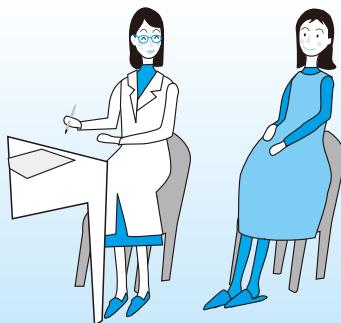
6月市議会定例会中、10日、11日、14日の3日間で、市政全般について15人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、6月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただけます。また、市議会ホームページの会議録検索システムをご覧ください。発行・掲載はいずれも9月上旬の予定です。

また、インターネット録画中継も実施していますのでご覧ください。

松本昌成（公明党）

国民の命を守る
がん対策について



がん検診無料クーポン
事業の取り組み成果は。
答 子宮頸がん検診は、受診率22%、要精検6人、うち子宮頸がん1人。乳がん検診は、受診率18.8%、要精検50人、乳がん4人、乳腺症3人等であった。
問 県内では名古屋市が行うという情報はある。
答 県内では名古屋市が行うという情報はある。
今後、県内の情勢などを見て検討したい。

児童虐待への
対応と対策について

児童虐待の現状・実態、
対策はどうか。

平成19年86件、20年73件、21年66件と件数は減っているが、継続して虐待の心配のあるケースが増えている。子供の命を守るために、必要な支援を続けていく。

飛田常年（市政クラブ）

蒲郡の農業振興
について

日本農業賞大賞の受賞
を機会に、蒲郡みかん
の看板の設置はどうか。

蒲郡のPR、みかん産業発展のために、新幹線から目立つところに設置できればと、JA、柑橘組合の皆さんと一緒に進めていければと思っている。

大変意義のある会と思
う。農業関係組織との
連携を立ち上げたいと
思うがどうか。

に、夜間や土日に開催すべきではないか。

初回の会合で、委員の了解のもと、時間帯、曜日設定等、参加しやすい環境づくりに努めている。

政権与党の方針に従つていいかざるを得ないと
思ふが、県、国の出先機関等へ、声を伝えたいと思う。



ごみ減量対策は

街路樹等破碎チップの堆肥化に伴う堆肥舎を建設してはどうか。

循環型社会では必要だ
が、コスト、維持管理費等検討し、土地の利用を考えながら早急に考えたい。

1 新教育長の抱負と方針について

審議会等は、広く市民に参加してもらうため

問 形原温泉地域にノルデイックウォーキングの

形原温泉郷の更なる活性化利用を

小林優一（未来の会）

市政運営の公開性、透明性について

が、コスト、維持管理費等検討し、土地の利用を考えながら早急に考えたい。

その他の質問

1 新教育長の抱負と方針について

問 総合計画市民意識調査への手紙24万円ほどで、市政運営、計画策定に大変参考になつてている。

問 市民意識調査等の費用、またその効果は。

答 政権与党の方針に従つていいかざるを得ないと
思ふが、県、国の出先機関等へ、声を伝えたいと思う。

答 初回の会合で、委員の了解のもと、時間帯、曜日設定等、参加しやすい環境づくりに努めている。

問 政権与党の方針に従つていいかざるを得ないと
思ふが、県、国の出先機関等へ、声を伝えたいと思う。

コースや遊歩道の整備も含めた事業の展開は可能か。

答 既存の道路や自然を利用して、ノルディックウォーキングのコースができるか検討していきたい。

隠れ債務の実態について

問 今後の市職員の退職金の見込みは。

答 来年度以降の4年間は定年退職者数40人程度で10億円強で推移し、定年退職者のピークとなる27年定年退職者数40人程度には50人超で13億円程度になり、28年度以降は20数人で5億円位まで減少すると見込んでいる。

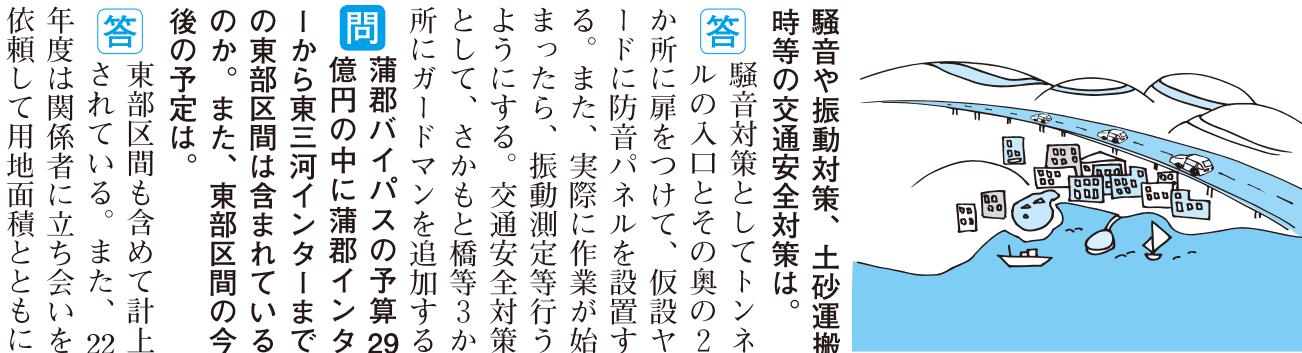
問 退職手当債を発行する予定はあるのか。

答 借金である退職手当債を退職金に使うのは適当でないと考えている。

竹内政住(市政クラブ)

国道23号蒲郡バイパスについて

問 坂本トンネルの掘削工事が本格的に始まる。



全国消防操法大会の概要と予算措置は

問 事実上初めて地方で開催される全国消防操法

答 11月12日に競艇場南駐車場一帯で開催され、消防団選手を含む関係者等約7千名が訪れる。当市が、約7200万円の経費のうち250万円を負担する。

物件や建物の調査をし、価格算定作業を進めて、実際に買収作業に入るのは23年度以降になると思われる。

鎌田篤司(市政クラブ)

商店街の街路灯の維持と商店街振興策は

問 商店街による街路灯の維持管理が困難になつてきている。この対応策は。

答 防犯灯として総代区で維持管理をしてもらえるようお願いをしていく。

名鉄電車



問 国の補助金確保に努めるが、出ない場合でも市は支援をしていきたい。

伴 捷文(市政クラブ)

名鉄西尾・蒲郡線の支援について

問 3月開催の名鉄西尾・蒲郡線対策協議会で方針が固まってきたと聞いています。県の積極的な支援を期待しているが、どの程度の支援を考えているのか。

答 名鉄西尾・蒲郡線は道路と同様な社会基盤であるという認識のもと、県

国道247号に信号機の設置を

には支援対象経費の半分程度の負担を幹事会等で要望している。

問 仮称蒲郡ショッピングモールのオーブンまでに信号機の設置は可能か。

答 事業所の協力のもと現用している進入路の通り抜けの条件が整い、市道として認定されれば、公安委員との協議が必要だが、交差点として信号機の設置は可能であると考える。

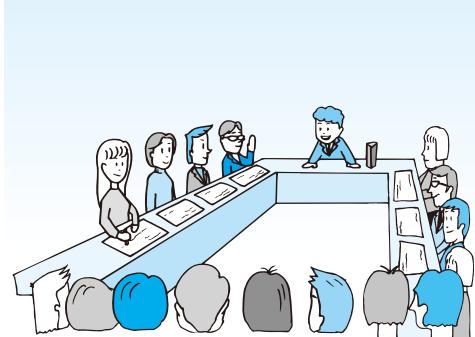
平和行政について

問 市長に「核兵器のない世界を」という国際署名の要請があったと思うが、どう対応したか。

答 わが国は唯一の被爆国として核廃絶を求め、本市もこれを支持している。5月13日には「ヒロシマ・ナガサキ議定書」への賛同署名をし、送付した。

新実祥悟(無所属)

国道247号鹿島バイパスの渋滞緩和について



乗つて残そう名鉄西尾・蒲郡線について

問 総合公共交通体系整備を、市が音頭を取つて進めていく考えはあるか。

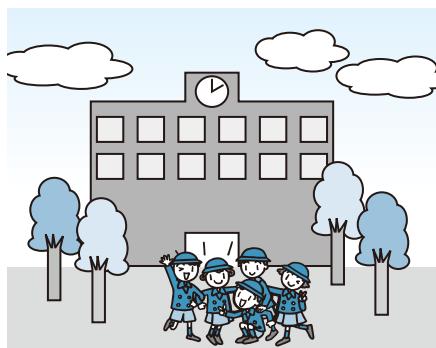
答 ス、タクシーを公共交通ととらえている。民間会社の営業であり、市から話をして乗つてもらえるかは難しい問題だと思っている。

問 広島市・長崎市が主宰する平和市長会議に加盟すべきではないか。

答 議会の議論や市民の間の機運の高まりも必要であり、皆さんと相談して判断したい。

問 「非核平和都市宣言」を行つたらどうか。

答 本市では昭和43年10月5日に核戦略兵器による戦争を否定し、恒久平和を願う「世界連邦平和都市宣言」を制定している。基本的理念は同じとの認識で、新たな宣言を出すことは考えていない。



学校のトイレ環境について

伊藤勝美(公明党)

問 トイレ環境が子供の成長に与える影響と整備計画はどうか。

答 カインズモール内の乗り入れ道路が公道となり交差点になり得るので信号設置が可能と思われる。バス4車線化の可能性はどうなっているのか。

大竹利信(公明党)

問 地産地消の推進と直売所の取り組みは

答 多くの自治体が策定している中で、市の今後の取り組みについて伺う。

問 災害時の市の事業継続計画(BCP)について

答 施設改善が平成26年度に完成する。活用を検討しているが、直売所を作りのもの一つと考えている。



ポートレース場



東港の現況

年度は全事業の評価を行つた。BCP策定の検討とともに初動対応マニュアルを精査し、実行性のあるものについていきたい。

野崎正美(市政クラブ)

東港埋立地暫定利用について

問 今後、整備予定は、また、供用開始後の利用及び維持管理方法はどうか。

答 今後は管理施設、日々の設備、ベンチ等と植栽工を施工し、9月下旬には供用開始できるよう事業を進めていきたい。利用・維

全国学力学習状況調査について

問 過去3年間の結果について、本市はどのようにとらえているか。

答 本市の子供たちは、全体的に満足のいく結果を残している。指導方法の部分的修正は必要であったが、根幹において、本市が

大場康議(市政クラブ)

住宅リフォーム助成制度の実施を

問 実施に関する要望書が市長に提出されたが、市の考え方を伺う。

答 10月施行に向けて作業を進めていくことにしました。内容は、1件20万円を上限に、工事金の10%の助成を考えている。

子どもたちのビブワクチン接種費用に市の助成を

問 細菌性髄膜炎に対するヒブワクチン接種の有効性はどのよう

答 アメリカではワクチン導入後、発生数が10分の1に減少した。

問 市は接種費用の助成をするべきではないか。

日恵野佳代(日本共産党)

持管理办法は、現在たたき台案を検討している。今後、東港活用検討委員会を準備委員会として、グラウンドゴルフ協会の方や地元総代区の方等新たに加わっていただき、検討していきたい。

地球温暖化防止の通勤方法を

問 豊橋市で成果が上がっている自転車での通勤(エコ通勤)に対する助成を本市でも取り組む考えは。

答 今年度6月から愛知県が提唱する「毎月第1水曜日はエコモビの日」を実践協力し、職員に公共交通機関や自転車での通勤を呼びかけ、各課から報告を求めている。豊橋市のようなエコ通勤運動については検討課題である。

進めてきた教育の方向性は正しかったと判断できた。

アサリ稚貝の育つ六条潟保全を

問 豊川河口の六条潟の保全を、どう考えるか。

答 今後も自然のままで保全することが大事なことだとと思っている。

問 設楽ダムは、六条潟のアサリの成育に悪影響を及ぼす恐れがあると言わされている。建設を中止すべきではないか。

答 設楽ダムは必要なものであると認識している。



市の人間ドック事業は廃止し、民営化を

問 人間ドック事業の廃止と民営化について伺う。

答 市の財政が厳しい中、人間ドックの今後については様々な検討をしていく。いろいろな影響を配慮しつつ、大きな方向性を検討する時期だと考えている。

大向正義(未来の会)

葬祭場出店予定業者への指導と住民の意向は

問 豊岡町で葬祭場出店の説明会が開催された。

答 住民の多くの方々が出店に反対していると思われる。今後、事業が実施されていくようであれば、今回の葬祭場出店予定の建築物が既設利用であり、指導要綱の環境整備事項に触れる部分が見受けられるため、指導要綱に基づき強く指導していく。

市議会議員の定数を2人削減し 次の一般選挙から20人に

6月市議会定例会は、6月10日から21日までの12日間の会期で開き、議案17件、意見書案3件を審議しました。

市議会議員の定数を定める条例の一部改正など、主な内容をお知らせします。

6月定例会
議 案

条例の改正

●議員定数を2人減少 (議員提出第3号議案)

市議会議員の定数を現在の22人から20人に減少する条例が議員提案され、可決されました。平成23年4月に予定の、次の一般選挙から定数20人が適用されます。本市の議員数は、昭和55年に36人から32人、58年に28人、平成9年に26人、18年に22人と、それぞれの改正で定数を減少してきました。

今回の定数削減は、逼迫した市の行財政改革に市議会も率先して取り組むため、経費削減に議員自らが範を示すものとして、提案されたものです。

●市内2施設に指定管理者制度を新たに導入 (第48号議案)

平成23年度から新たに、養護老人ホームと形原公民館に指定管理者制度を導入するための条例改正が行われました。この結果、指定管理者制度の導入施設は合

計で43施設となります。
●総務委員会での主な質疑
問 養護老人ホームにおいては、指定管理の期間がありまして、短期では非常にまことに短いが、何か特別な扱いを考えているか。
答 初めての指定管理ということもありますあり、3年で考え

22年10月から利用時間の延長と共に通回数券の発行を行います。利用時間は、現行の午前6時から午後10時までを、午前0時までに延長します。共通回数券は、100円券の11枚セットを千円、60枚セットを5千円で販売します。

●経済委員会での主な質疑
問 利用時間の延長と共に通回数券の販売について周知はどうのように行うのか。
答 市役所の都市計画課で販売します。利用者の利便増進のため、他の場所での販売も検討します。

**●国民健康保険税の改定
(第51号議案)**
問 地方税法等の改正に伴い、基礎課税額（医療分）及び後期高齢者支援金等課税額（支援分）の課税限度額を、万円に、支援分は現行の47万円が50

形原公民館



ています。

問 養護老人ホームは、市の職員が残る形で運営をしていくのか。
答 市の職員は残らない形で考えています。

●蒲郡北駅前及び南駅前広場公共駐車場の利便増進 (第50号議案)

北駅前広場駐車場



	医療分		支援分	
	改定前	改定後	改定前	改定後
所得割額	4.85%	1.9%	1.85%	
資産割額	19.5%	3.0%		
被保険者均等割額	23,000円	22,600円	7,000円	
世帯別平等割額	23,000円 (11,500円)	22,700円 (11,350円)	7,000円 (3,500円)	

()は特定世帯：国民健康保険の被保険者が後期高齢者医療制度に移行したことにより単身世帯となる世帯

万円が13万円に引き上げられます。これらの課税限度額が引き上げられることにより、税率が左表のとおり引き下げられます。また、解雇、倒産等、やむを得ない非自発的な理由及び特定理由離職者に対し、前年の給与所得金額を100分の30に減額して国民健康保険税を算定することが可能になりました。

●文教委員会での主な質疑

■6月定例会で審議された議案の一覧

○条例の改正

- ④6市職員の育児休業等に関する条例及び市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
- ⑦市職員の退職手当に関する条例及び市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正
- ⑧公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部改正
- ⑨火災予防条例の一部改正
- ⑩公共駐車場条例の一部改正
- ⑪国民健康保険税条例の一部改正
- ⑬市議会議員の定数を定める条例の一部改正

○補正予算

- ⑫平成22年度一般会計補正予算(第1号)
- ⑬平成22年度三谷町財産区特別会計補正予算(第1号)

○専決処分

- ⑭平成22年度三谷町財産区特別会計補正予算(専決第1号)

○その他

- ⑮人権擁護委員の候補者の推薦
- ⑯市道の路線変更
- ⑰物品の購入(投票系集約化システム機器)
- ⑱物品の購入(事前導入センターシステム機器)
- ⑲物品の購入(集約化対応センターシステム機器)
- ⑳「緑の分権改革」推進事業及びICTふるさと元気事業に係る事務の委託に関する協議
- ㉑訴訟の提起

()内の数字は議案番号。ただしローマ数字は議員提出議案。
④、⑬は賛成多数で、それ以外は全会一致で可決されました。)

問

課税限度額を引き上げる理由は。また、地方税法施行令の改正の度に引き上げる必要があるのか。

答

昨今の医療費増嵩の中、

中低所得者層に負担を強いられる結果となります。相對的に所得のある方に多めの負担をお願いせざるを得ないとの国の判断から施行令の改正が行われたものです。この趣旨を尊重し、施行令に定める額のとおり今後も改正したいと考えています。

■陳情

○私立高校生に対する授業料助成の堅持・拡充を求める陳情書

提出者 愛知私学助成をすすめる会
会長 中川 初枝 氏 ほか2団体
審査結果 聞きおく

○働く者の権利を守り、住民の安全・安心を確保し、憲法擁護・核兵器のない世界を求める陳情書

提出者 春の自治体キャラバン実行委員会
代表 樽松 佐一 氏
審査結果 不採択

○夫婦別姓に関する陳情書

提出者 坂田 稔 氏
審査結果 採択

○子ども手当の廃止を求める陳情

提出者 日本の子供の未来を・守る会
愛知支部 安藤 実知子 氏
審査結果 聞きおく

○選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する陳情

提出者 日本の子供の未来を・守る会
愛知支部 安藤 実知子 氏
審査結果 採択

○「蒲郡市私立高校等授業料補助制度」の継続・拡充についての要望

提出者 桜丘学園
理事長 満田 稔 氏 ほか11団体
審査結果 聞きおく

会議録の検索と閲覧

市議会本会議の会議録と常任委員会の会議録をインターネットでご家庭から閲覧・検索することができます。ぜひご利用ください。

○会議録の検索と閲覧

http://www.gijiroku.jp/gikai/c_gamagori/index2.html
※ホームページのアドレスが変わりました。

その他の議案

- 人権擁護委員の候補者の推薦（第52号議案）

委員石原庸隆氏及び白川節子氏の任期が9月30日に満了することに伴い、白川氏を引き続き、新美和彦氏を新たに委員として法務大臣に推薦することに賛成しました。

● 物品の購入

- (第54・56号議案)

場間場外発売における効率的な運用を図り、競艇業界で推進している投票システム集約化の施策にあわせ、投票系集約化システム機器を4370万円で購入します。購入先は、NECネットエスアイ株式会社です。

また、この投票系集約化

システムに対応したセンターシステム機器のうち事前導入が可能な機器を499

8万円、それ以外のセンターシステム機器を1億59

60万円で購入します。購入先はともに日本トーター

株式会社です。

■ 6月定例会で議決された平成22年度補正予算(千円)

会計名	補正の主な理由	補正額	歳入・歳出予算の総額
一般会計 (第1号)	防犯対策事業費追加(4,410千円)	121,650	24,805,650
	老人福祉事業費追加(26,250千円)		
	住民基本台帳ネットワークシステム事業費追加(4,000千円)		
	緊急雇用創出事業費追加(59,808千円)		
	学校諸活動支援事業費追加(3,013千円)		
	文化財保護事業費追加(2,500千円)		
三谷町財産区特別会計 (第1号)	建物収去土地明渡し等請求訴訟費	1,800	70,800

■ 意見書

②「鳥羽～伊良湖航路」の存続に向けた施策を求める意見書

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣府特命担当大臣(経済財政政策)、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣

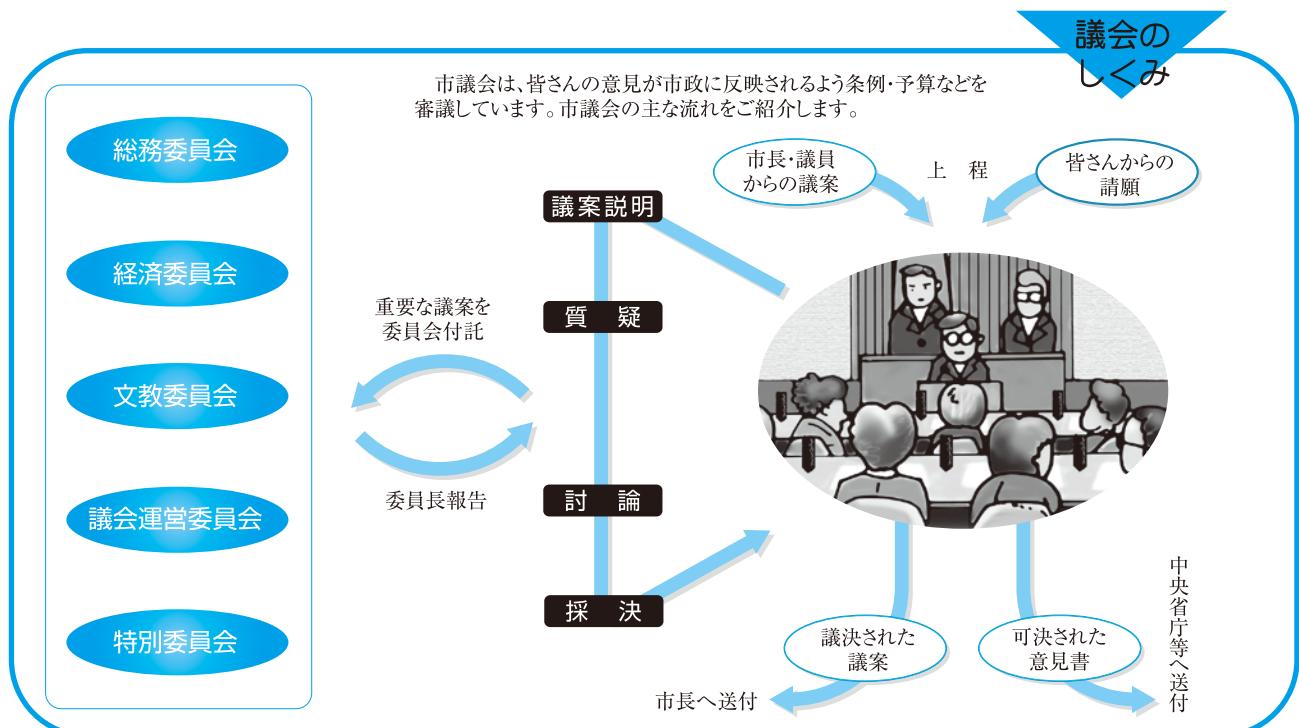
③夫婦別姓を容認する法案に反対する意見書

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、外務大臣

④地方議會議員年金制度の廃止を求める意見書

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣

(○内の数字は、意見書案番号。③は賛成多数で、それ以外は全会一致で可決されました。)



委員会通信

3 常任委員会 管内視察を行う

他市町村議会からの視察一覧

《1月》

- 12日 埼玉県都市財政研究会／競艇事業
- 15日 山口県防府市／粗大ゴミ等運搬用
トラック貸出制度、観光交流立市宣言
- 28日 東京都調布市／JR駅前広場整備事業

《2月》

- 9日 茨城県土浦市／協働のまちづくり、
ジャパンブランド育成支援事業
- 18日 愛知県碧南市／LED防犯灯
- 19日 富山県射水市／ラグーナ蒲郡

《3月》

- 29日 沖縄県／観光振興
- 30日 静岡県沼津市／みなとオアシスがまごおり
- 30日 愛知県豊川市／新消防庁舎

《5月》

- 17日 徳島県吉野川市／上下水道事業
- 20日 愛知県蟹江町／緊急地震速報

総務、経済、文教の各常任委員会は、いずれも5月下旬に委員会を開き、関係部署の事務概要の説明を受けるとともに、管内の視察を行いました。

総務委員会は5月19日に開き、消防本部での説明及び新庁舎の施設見学後、情報ネットワークセンター・生命の海科学館、蒲郡駅高架下駐輪場を視察しました。経済委員会は5月20日に開き、クリーンセンターの汚泥処理施設、第2西浦配水池、国道23号蒲郡バイパス蒲郡西インター・エンジニアセス道路、蒲郡競艇場、栄町の海岸公園「リフレッシュパークみらいあ」を視察しました。

文教委員会は5月25日に



消防庁舎内を視察する総務委員



形原公民館で説明を受ける文教委員

開き、市民病院での説明の後、学校給食センター、形原公民館、鹿島保育園を視察しました。



第2西浦配水池内を視察する経済経済委員

●文教委員会での主な質疑

問 全部設楽産米ができると聞いています。
答 災害や台風によつて、設楽産米が確保できない場合が起きてくると思うが、その時の対応はどのようか。
問 基本的には設楽産米で全部賄えると思っていました。
答 仮に間に合わなければ、近隣の給食センターが使つている「あいちのかおり」で賄えると考えています。

委員会において、学校給食における米飯給食の拡大の報告がありました。

学校給食における米飯給食の回数が、今年度の10月から増えます。昨年度の米飯給食の回数は、年間192回の給食のうち、159回で週4・14回でした。今年度は194回の給食のうち、177回となり、週4・56回に増えます。

6月17日に開かれた文教委員会において、学校給食における米飯給食の拡大の報告がありました。

米飯給食の拡大

●編集 議会だより編集委員会 ●発行 蒲郡市議会 ●〒443-8601 蒲郡市旭町17-1 ●TEL. 0533(66)1169 ●FAX.(66)1186

協力で発行されています。また、議会だよりは、三
協ループ「声」の皆さんのご
協力で発行されています。蒲郡市議会
議会だよりは、自の不自由な方
に、点字版とテープ版を発行して
います。点字版は、点訳奉仕グル
ープ「あい」の皆さん、ボランティア
グジでもお知らせします。

**議会だよりは
点字版とテープ版も
発行しています**

議会だよりは、自の不自由な方
に、点字版とテープ版を発行して
います。点字版は、点訳奉仕グル
ープ「あい」の皆さん、ボランティア
グジでもお知らせします。

詳しい日程は、8月31日（火）に開かれる予定の議会運営委員会で決まりますので、それ以後に議会事務局へお問い合わせください。本会議の傍聴を希望される方は、会議当日、市役所7階の議会事務局で手続きをしてください。

また、本会議の日程と一般質問の内容は、市役所のロビーや市議会ホームページでもお知らせします。

9月定例会の開会日・日程は

9月市議会定例会は、9月6日（月）から開かれる

河塩津駅を除く市内JR3駅のほか市民病院や市役所出張所にも置いてあります。なお、インターネットでもご覧いただけます。

議員表彰

竹内政住議員が35年以上、
鎌田篤司議員が20年以上、
土屋善四議員、鈴木八重久
議員、藤田勝司議員が15年
以上、市議会議員として市政の発展に尽くされた功績により、全国市議会議長会会長から表彰されました。

議会日誌

4月9日から7月23日

4月

- 13日 議会運営委員会理事会
- 20日 議会運営委員会理事会
- 28日 議会運営委員会理事会
議員親睦会理事会
- 30日 5月臨時会招集告示

5月

- 6日 議会運営委員会理事会
- 10日 議会運営委員会
- 12日～13日 5月臨時会
- 12日 議会運営委員会
- 13日 議員親睦会総会
- 17日 正副委員長会議

7月

- 7日 経済委員会
- 8日 議会だより編集委員会
- 13日～15日 文教委員会行政視察
- 14日～16日 経済委員会行政視察
- 18日 東三河5市議会議長会議
- 19日 総務委員会管内視察
- 20日 経済委員会管内視察
- 25日 文教委員会管内視察
- 28日 議会運営委員会理事会



6月市議会定例会で「地方議会議員年金制度の廃止を求める意見書」を全会一致で可決し、関係諸機関に送付しました。

地方議会議員の年金制度は、昭和36年に任意加入の互助年金制度として発足し、その後、地方公務員等共済組合法に基づく強制加入の年金制度に移行。しかし、平成の大合併により、市町村の数が減少。市議会議員数の削減もあって、現職会員（議員）数が大幅に減りました。

3期以上務めて「権利」を取得した受給者（元議員）の数が6万人を超え、現職議員の3倍近くになるなど、運営が厳しくなっています。

蒲郡市議会議員は、年間約103万円の掛け金を出し、蒲郡市が約92万円を負担し、議員共済会に拠出しています。

すでに国会でも議員年金制度は廃止されており、財政的に存続が厳しく、市の負担や市民感情を考慮し、廃止を求めたものです。

[議会だより編集委員]

○来本 健作 ○野崎 正美 大場 康議
柴田 安彦 伴 捷文 波多野 努
伊藤 勝美

(○は委員長、○は副委員長)



私たちが、編集委員です。